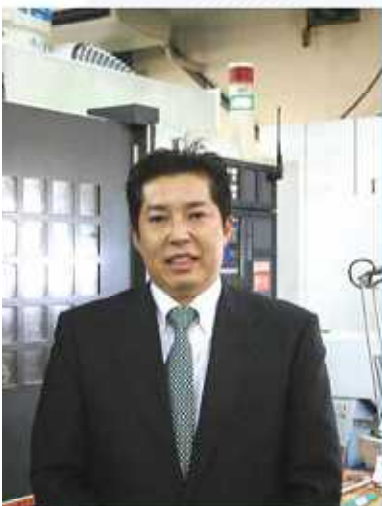


顧客ニーズに対応できる、技術と会社体制の確立



宇都宮市内で「ものづくり」や「商品開発」などに力を注ぐ「未来志向型企業」の経営者にご登場いただき、取り組みをお話しいただく本コーナー。第2回は独自技術で、ローラーシャフトや計測器部品、自動車部品などの精密機械加工に取り組む、株式会社テクノマイスターの佐藤忠彦社長です。

株式会社テクノマイスター代表取締役 佐藤忠彦氏

「独自技術の「摩擦圧接加工」により、高品質・低コストの生産を行なっているところが特徴です。」

私どもは、昭和41年に測定器（ダイヤルゲージ）の組み立てから事業を始めました。その後フライス加工やロータリー研磨加工などを行ないながら、事業の拡大に努めて来ました。

そのような中、25年以上前から取り組んで来た自社技術が、「摩擦圧接加工」です。これは、接合する部材を高速で擦り合わせ、その摩擦熱で部材を軟化させると同時に、圧力を加えて接合する技術です。比較的簡単な作業で高い精度の加工が可能であり、ま

た別種の材料を組み合わせて接合できるため、顧客のニーズへ柔軟に対応できます。

また、グループ会社が材料を扱う会社ですので、特殊な材料であっても調達がスムーズで、これもまた私どもの強みになっています。

「**操業時間も24時間体制です。**」

そうですね。瑞穂野工業団地内で24時間操業は、私どもの他に1社くらいでしょうか。ものづくり企業として、いい製品というのは当たり前で、お客さまの希望の納期スピードにお応えできなければいけません。独自技術の

優位性に頼るだけでなく、顧客対応や安定した生産体制など「品質」「納期」「コスト」のバランスをとり、会社全体のシステムを確立することが、重要であると考えています。

「**技術も重要ですが、トータルな企業力が不可欠**ということですね。今後の経営目標は何でしょうか。」

第一に、新たな自社技術の開発です。顧客ニーズはさまざま

Information



株式会社テクノマイスター本社写真

株式会社 テクノマイスター
代表取締役 佐藤 忠彦
創業 / 昭和41年(昭和44年 設立)
業務内容 / 精密機械加工
主力商品 /
ローラーシャフト(鉄・アルミ・摩擦圧接)、
印刷機ローラーシャフト、計測器部品、自動車部品、
建設機械部品等
住所 / 宇都宮市瑞穂3丁目4-21
(瑞穂野工業団地内)
☎ 028-656-3773
<http://techno-meister.co.jp>
関連会社 / 興新特殊鋼材



専任加工技術で生産したさまざまなローラーシャフト

までですから、それによりよく対応できるよう、生産体制の充実もさることながら、新たな自社技術・独自技術に取り組んで、イノベーションを行ないたいと考えています。

また、技術というのは結局は「人」ですから、現在の自社の技術を継承できる人材の育成にも、今後はより力を注ぎたいですね。

独自技術があることで、お客様にアピールもでき、新たな提案も行なう事ができます。そして、

いただいた注文には確実にお応えし、期待以上の製品を、期限内に納品しなければなりません。こうした会社の体制も、

維持発展させるのは、「人」です。新たなステップアップとして、取り組んで行くつもりです。